

---

# アニマルズ・トーク！

sio鰻

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アニマルズ・トーク！

### 【Nコード】

N5533C

### 【作者名】

SiO鰻

### 【あらすじ】

動物と話すことができる不思議な力を持った高校生、そんな主人公は動物に大人気。普通の高校生活を送りたいと願う主人公、学校にあふれかえる動物。はたして主人公は普通の高校生活を送れるのか……いや、無理でしょ……。

## プロローグ（前書き）

作品中、結構性格の悪い動物が出てくることがあると思われます。それが読んでくれた方の大好きな動物であった場合、本当にごめんなさい。

その場合「これは作者の偏見なんだ」と思うか、「これは猫じゃない犬だ」的な勝手な置き換えをして最後まで読んでいただけたら嬉しい限りです。

## プロローグ

俺たち人間はコミュニケーションをとる方法の一つとして言葉を持っている。

しかし、これは人間同士がコミュニケーションをとる方法であつて他の動物には適応されない。人間の言葉を理解する動物が存在するかもしれないが、人間の脳みそは人間以外の動物の言葉を理解できるように構成されていない。

いや、もしかしたら英語や韓国語など外国語的な感じで勉強すれば理解でき、会話をすることができるかもしれないが、今のところ本屋で『初心者でも分かる犬語』的な入門書を見たことがないし、駅前にも犬語を教えてくれる場所は見当たらない。

よつて、人間は犬や猫といった動物たちと会話することができないのだ。

そう・・・できないんだ。

人間と動物は会話ができない。

俺はこのことを小学校5年くらいで知り始めた。

なぜ俺がそんな年までこの事に気付かなかつたのか・・・。

別に俺がイタイ人というわけでもないし、現実がわからなくなるくらいに夢を持った人間だからではない。ただ当たり前だったのだ。

動物と話すということが・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5533c/>

---

アニマルズ・トーク！

2010年10月15日20時54分発行